

令和7年度大分県社会福祉施設等 経営支援セミナーのご案内

①権利擁護と虐待防止研修		⑥ハラスメント防止研修	
日 程:	令和7年6月18日(水)	日 程:	令和7年10月15日(水)
対 象:	全階層 / 全職種	対 象:	全階層 / 全職種
虐待が起こる要因や背景を理解し、身近な虐待行為について振り返りを行うことで、虐待を見逃さない組織風土作り、グレーゾーンケアへの対応と、より質の高いケアの提供を目指していきます。 スケジュールが合わなかった方や、同じ施設での多数の参加希望を可能にするために、第1回と第8回で開催します。 今年度は、高齢者施設だけでなく、障害者施設でも勤務、介護福祉専門学校の専任教員等の勤務経験のある講師をお招きしました。		誰もが被害者・加害者になりうる「職場内ハラスメント」「カスタマーハラスメント」のメカニズムやその防止策を正しく理解し、ハラスメントのない安全・安心な職場環境作りを目指して行きます。 また、ハラスメントによるメンタルヘルス環境悪化を防ぐための「望ましいコミュニケーション」についても、演習を通してより深く体得していきます。	
②福祉現場の生成AI活用研修		⑦福祉現場のコミュニケーション研修	
日 程:	令和7年7月2日(水)	日 程:	令和7年11月5日(水)
対 象:	全階層 / 全職種	対 象:	全階層 / 全職種
生成AIはすでに多くのビジネスの場に浸透していますが、今後は生成AIを使えないと仕事が進まない時代が来るとも言われています。「そもそも生成AIの何なのか?」「便利とは聞くが、実際にどう便利なのか?」に始まり、福祉現場での活用例や、活用への抵抗感に繋がりがやすいセキュリティなど、生成AIの基本について学びます。また、生成AIの種類や用途を知り、実際に生成AIを使った仕事の効率化を進めていくことで、現場の生産性をより高めていくことを目的とします。(携帯または、タブレットをご持参ください。)		福祉において「コミュニケーション」はサービスの一部分を構成しますが、介護技術などの専門技術に比べると、コミュニケーションの重要性・必要性は軽く見られがちです。利用者との関係性構築のみならず、事故やリスク、クレーム、経営へのインパクトにもコミュニケーション技術の巧拙は関わってきます。 本講座では、精神論的に捉えられがちなコミュニケーションのあり方について、科学的・理論的に考察し、実務に活かして利用者満足・職員満足を実現するためのポイントを理解します。	
③タイムマネジメント研修		⑧権利擁護と虐待防止研修	
日 程:	令和7年7月23日(水)	日 程:	令和7年12月3日(水)
対 象:	全階層 / 全職種	対 象:	全階層 / 全職種
実際の施設での改善事例などをもとに、福祉現場における時間短縮の適切なあり方や手法を学びます。 ・記録業務の効率化 ・余裕時間創出による検査枠の拡大 ・申し送り時間の短縮 ・褥瘡管理にかかるマットレス管理の時間短縮と適正運営 ・食材倉庫の整理による在庫管理(発注・出入庫作業)の効率化 ・業務の標準化による負担軽減と残業時間の削除 など		虐待が起こる要因や背景を理解し、身近な虐待行為について振り返りを行うことで、虐待を見逃さない組織風土作り、グレーゾーンケアへの対応と、より質の高いケアの提供を目指していきます。 スケジュールが合わなかった方や、同じ施設での多数の参加希望を可能にするために、第1回と第8回で開催します。 今年度は、高齢者施設だけでなく、障害者施設でも勤務、介護福祉専門学校の専任教員等の勤務経験のある講師をお招きしました。	
④対人援助の記録の基本研修		⑨多職種連携の実践研修	
日 程:	令和7年9月3日(水)	日 程:	令和8年1月21日(水)
対 象:	全階層 / 全職種	対 象:	全階層 / 全職種
社会環境の変化に伴う記録の意義・目的を理解し、それに即したメモや記録の基本と実践を学ぶことで、より良いサービス提供と、自信の持てる記録作成に役立てていくことを目的とします。 また、記録は「書く」だけでなく、「読む」ことも大切です。読むことによる自身の業務の振り返り、サービス利用者のQOLの向上につなげていくことも必要があります。 場面ごとの文例から、「書く」「読む」を学ぶ内容となっています。		チームでサービス提供を行う福祉の現場では、「多職種連携」の必要性が特に叫ばれているにもかかわらず、実際にはあまりスムーズにいったいないことも多いようです。 本研修では、多職種連携を「チーム作り」の観点から捉え直し、チームメンバー同士がいかに効果的なコミュニケーションを取り、互いの違いを認め合いながら、同じ目標に向かっていくためにどうすればいいかを、演習を通して考えていきます。	
⑤福祉現場の災害対応力強化(1日編)研修		⑩福祉職の接遇マナー研修	
日 程:	令和7年9月17日(水)	日 程:	令和8年2月4日(水)
対 象:	全階層 / 全職種	対 象:	全階層 / 全職種
実際の福祉の現場(施設・事業所)において、平常時から災害発生時までの防災意識の醸成と災害への備えについての理解を深めていくことを目的とします。 また、実際の災害時にも慌てることなく、確かなコミュニケーションを取って行動できるよう迅速な指示の授受の能力も高め、研修全体を通じて、施設・事業所の災害に対する対応力の強化、内部研修や訓練のアップデートを図っていきます。		豊富なロールプレイや演習を通じて、対人援助職である福祉職に求められる「臨機応変な接遇対応力」や、接遇向上の基盤となる「コミュニケーションの基本」について習得します。コミュニケーション力をつけることは、接遇向上のみならず、職場でのストレス軽減にも繋がっていきます。 また、人には様々なスタイルがあることを理解し、自身や相手の特徴を知ること、公私共に役立つ「トラブルやストレスのない人間関係作り」も目指していきます。	

参加費：会員 5,000円／非会員 8,000円

連 絡 先

大分県社会福祉協議会 施設団体支援部
〒870-0907 大分市大津町2丁目1-41
TEL : 097-558-0319
FAX : 097-558-6001